

平成21年 6月 8日現在

研究種目：基盤研究 (C)

研究期間：2006～2008

課題番号：18500502

研究課題名 (和文) 青年重度障害者の生涯スポーツ参加に関する研究

研究課題名 (英文) A Study about sports participation in their life of sever disabilities people with youth.

研究代表者

寺田 恭子 (TERADA KYOKO)

名古屋短期大学 現代教養学科 教授

研究者番号：20236996

研究成果の概要：

本研究は、特に青年期における重度障害者のスポーツ参加に着目し、彼等のスポーツ参加の現状を実態調査から把握、彼らがスポーツに継続参加できる活動方法について検討した。その結果、そのためには人的サポートが最も重要である事が明らかとなった。また、サポート方法と体制としては、重度障害者が地域の中で健常者と共に活動できる場を積極的に増やし教育の場を通して自然な交流が出来るシステムを構築する事が最重要課題となった。

交付額

(金額単位：円)

	直接経費	間接経費	合計
18年度	1,000,000	0	1,000,000
19年度	1,100,000	330,000	1,430,000
20年度	800,000	240,000	1,040,000
年度			
年度			
総計	2,900,000	570,000	3,470,000

研究分野：総合領域

科研費の分科・細目：スポーツ科学

キーワード：重度障害者 青年期 社会参加

1. 研究開始当初の背景

平成15年から「障害児の身体活動支援プログラムに関する研究」を行い、障害児の活動プログラムの現状と今後について研究を行った。その時に重度障害児・者が様々な面(社会的側面、人的側面等)において、身体活動を行うのに困難であることが明らかとなったため、今回の研究を試みようと考えた。

2. 研究の目的

青年期における重度障害者にとってスポ

ーツ活動は身体機能の向上役立つだけでなく、その活動を通して社会参加することで、青年としての社会における人間関係の構築に役立つと考える。そこで、本研究は、重度障害者が生涯に渡って参加できるスポーツ活動の場とそのあり方について研究することを目的とした。

3. 研究の方法

1. 青年期における重度障害のある方々のスポーツ活動についての調査。

2. 青年期の重度障害者がスポーツ活動を行うことによる発達の変化の裏づけ (MEPA II) による調査

3. 重度障害者へのサポート体制—ボランティア活動を行う人々 (健常者・青年期) の実態調査

4. 青年期重度障害者のスポーツ活動の実際から、今後のスポーツ活動のあり方を考える (ダンス活動の現状と今後の課題)

4. 研究成果

研究を通して、青年期の重度障害者がスポーツを継続して行うためには人的サポートが最も重要である事が明らかとなった。また、そのサポートの方法および体制は、重度障害者が地域の中で健常者と共に活動できる場を積極的に増やし、教育の場を通して自然な交流が出来る事が必要である。青年期の重度障害者が若者として、若者らしく同世代の者と交流を持ち、人間らしい生活を送れるための1つの方法としてスポーツ参加をすることは望ましい事がはっきりした。それは障害者本人ばかりでなく、サポートする人々とかれらを取り巻く社会の変革にも繋がると言える。この結果より、重度障害者のスポーツ支援体制の具体的方法を提示する基礎が出来た。また、重度障害者にとってスポーツが必要であることを、運動生理学的見地から立証すべき研究の基盤を得る事ができたことは大きな成果である。

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文] (計 6件)

1. 2008.3.31 短期大学における障害者スポーツ指導員資格取得認定校の現状と課題 名古屋短期大学紀要第 47 号：
寺田恭子
2. 2007. 11. 30 電動車いすのダンス 日本障害者体育・スポーツ研究会紀要第 31 号：寺田恭子
3. 2007. 3. 31 障害児・者のダンスに関わった学生の意識変化に関する研究

A Study of Students' Attitudes after Having Worked with People with Disabilities through Dance

名古屋短期大学紀要第 45 巻：寺田恭子

[学会発表] (計 7件)

1. 2008. 12. 7 「障害のある児童の体育に関する研究」—東海地区小学校を対象として 第 29 回医療体育学会/第 12 回日本アダプテッド体育・スポーツ学会 第 10 回合同大会 (京都女子大学)：藤田紀昭、寺田恭子、山崎昌廣、金山千広
2. 2008. 9. 11 短期大学における障害者スポーツ指導員資格取得認定校の現状と課題 日本体育学会第 58 回大会 (早稲田大学)：寺田恭子
3. 2007. 8. 25 電動車いすのダンス 日本障害者体育・スポーツ研究会第 31 回大会 横浜ラポール：寺田恭子
4. 2006. 9. 2 障害児・者のダンスに関わった学生の意識変化に関する研究—障害児・者とのダンス活動に関する意識変化に注目して— 第 30 回日本障害者体育・スポーツ研究発表会 兵庫県立総合リハビリテーションセンター：寺田恭子、藤田紀昭

[図書] (計 0件)

[産業財産権]

○出願状況 (計 0件)

○取得状況 (計 0件)

[その他]

2007.8.28 障害者スポーツ論&福祉スポーツ講義ノート (書き込み式の授業用参考書) 自費出版

6. 研究組織

- (1) 研究代表者
寺田恭子 名古屋短期大学
現代教養学科教授
- (2) 研究分担者
- (3) 連携研究者
藤田 紀昭 日本福祉大学
社会福祉学部 教授